

若手農家が語る！

所沢の若手農家を代表して、農業後継者協議会増田和之会長
4 Hクラブ常岡淳会長に所沢の農業について、お話を伺いました。

Q. 所沢の農業の特徴を教えてください。

増田：生産地と消費地が近いので新鮮な農産物が手に入りやすいですね。

常岡：住宅地と近い農地では、農薬散布等は常に気を使って行っています。

Q. 所沢農産物をPRするために若手農業者で何か活動を行っていますか？

増田：後継者協議会では、農産物の出来栄を競う品評会を開催して即売会等も行っています。

常岡：4 Hクラブでは、西武所沢店と協力してPRイベントも開催しました。

Q. 市民の方に伝えたいメッセージは？

増田：消費者を意識して、安心安全な美味しい野菜を作るよう常に心がけていますし、所沢の若手農家はやる気に充ち溢れています！

常岡：是非、所沢の農産物を食べてみてください！



所沢市農業後継者協議会とは
…30歳から40歳位までの農業
青年で組織される農業者団体
所沢市4Hクラブとは
…18歳から30歳位までの農業
青年で組織される農業者団体

休耕地について

昨今、市民のみなさまより農地に対する様々なお問い合わせが寄せられています。その中で、『なぜ、畑なのに何も栽培しないでおくのか。』『畑から乾いた土が飛んできて困っている。』というお問い合わせについて、農地の仕組みを簡単に説明させていただきます。

畑は、年間を通してみなさまに美味しい作物を届けてくれる大切なものですが、人間が一生懸命運動した後に休息が必要であるのと同様に、美味しい作物が出来上がった後、栄養を蓄えるために畑には休憩が必要となります。もし、連続して作物を作ろうとしても、良い作物ができないケースもあります（連作障害と言います）。そのため、街中を歩いている時に何も植えていない畑を見かけることがあるのです。

そんな中、生産者も緑肥作物（次の作付のための肥料となる植物）を植えて土がむき出しの状態にならないようにしたり、乾期には、かん水施設（井戸等）を利用して水を撒き、土埃が起らないように努力をされています。

市民のみなさまのご理解と生産者の努力により、美味しい野菜が畑からの贈り物として、食卓に届いています。市としましても、多くの農地が効率よく活用され、新鮮な野菜を市民のみなさまに食べていただけるよう様々な取り組みを行っています。

